

平成30年度 地域医療体験研修 報告集

研修日 平成30年8月22日（水）～8月24日（金）



福島県会津保健福祉事務所
福島県南会津保健福祉事務所



目 次

1	実施要項	1
2	スケジュール	2
3	地域おこし協力隊との交流	3
4	特別養護老人ホーム「かねやまホーム」 事例検討・ケアカンファレンスの見学等	4
5	医療保健福祉従事者との懇談会	6
6	只見町国民健康保険朝日診療所 外来診療見学 等	7
7	福島県立南会津病院 概要説明・施設見学 等	9
8	地域医療に従事する医師の講話	10
9	学生によるディスカッション	11
10	竹田総合病院 視察	13
11	診療所医師による講話	14
12	課題研究のまとめ・発表	15

1 実施要項

1 研修の目的

地域医療に関心を持つ医学生を対象に、地域医療等の現状視察や地域住民との交流などの場を提供し、過疎・中山間地域における地域医療等や地域の現状について理解を深めてもらうことを目的とする。

2 開催日

平成30年8月22日（水）～8月24日（金）〔2泊3日〕

3 対象者

地域医療に関心を持つ医学部学生（学年不問）

4 参加者

12名

5 研修内容

（1）地域医療現場等の視察

会津・南会津地域の診療現場及び社会福祉施設を視察する。

〈視察先〉特別養護老人ホーム「かねやまホーム」、只見町国民健康保険朝日診療所、福島県立南会津病院、竹田総合病院

（2）地域住民・地域医療等に従事する医療保健福祉従事者との懇談会

地域住民からは地域住民が医療に期待すること、上記機関の医療保健福祉従事者からは地域医療に関する考え方や体験談など生の声を聞き、意見交換を行う。

（3）奥会津地域での生活に触れる

三島町で生活し、活動している地域おこし協力隊員から、活動の内容や生活をしていく上で困っていること、助かっていることなどの話を聞くことで、過疎・中山間地域での生活の現状に理解を深める。

また、山ぶどうストラップ作り体験を通して奥会津地域の文化に触れる。

（4）課題研究及び発表

あらかじめ提示する課題について研究する。

また、地域医療体験研修を通して、学んだこと、考えたことをまとめ発表する。

6 宿泊場所

玉梨温泉 恵比寿屋（金山町）、民宿 星乃井（下郷町）

2 スケジュール

月日	行 程	場 所
8月22日 (水)	三島町地域おこし協力隊との交流	三島町交流センター山びこ
	特別養護老人ホーム「かねやまホーム」 事例検討・ケアカンファレンスの見学 等	金山町 特別養護老人ホーム「かねやまホーム」
	医療保健福祉従事者との懇談会	金山町 玉梨温泉 恵比寿屋
8月23日 (木)	只見町国民健康保険朝日診療所 外来診療見学 等	只見町 国民健康保険朝日診療所
	福島県立南会津病院 概要説明・施設見学 等	南会津町 福島県立南会津病院
	地域医療に従事する医師の講話	下郷町 民宿 星乃井
	学生によるディスカッション	
8月24日 (金)	竹田総合病院 視察	会津若松市 竹田総合病院
	診療所医師による講話	会津若松市 福島県会津保健福祉事務所
	課題研究の発表・まとめ	

3 地域おこし協力隊との交流

【 日 時 】 8月22日（水） 10：30～13：00

【 場 所 】 三島町交流センター山びこ

【 目 的 】 三島町で活動する地域おこし協力隊員と交流し、過疎・中山間地域での生活の現状について理解を深める。

【 内 容 】

1 地域おこし協力隊員の活動紹介

○三島町、奥会津地域の地域おこし協力隊員から地域での活動の様子や日々の生活についてお話しいただきました。



2 山ぶどうストラップ作り体験

○三島町の伝統工芸である編み組細工の体験として山ぶどうのストラップ作りを体験しました。



参加者の声（体験レポート等より）

- 町おこしについて興味があったので、地域おこし協力隊の方々が行う様々なアプローチを聞いて良かった。
- 奥会津に移住してきた理由が色々だが、満足して暮らしていることがよく伝わり、印象的でした。
- 移住にはメリットの他、デメリットもあり、それをメリットに変えられる人にとってはとても魅力的な移住先になると感じた。
- ストラップ作りの編みこみが単純作業なのに複雑なものができあがり、面白かったです。

4 特別養護老人ホーム「かねやまホーム」 事例検討・ケアカンファレンスの見学 等

【 日 時 】 8月22日(水) 13:00~16:00

【 場 所 】 金山町 特別養護老人ホーム「かねやまホーム」

【 目 的 】 利用者とのコミュニケーションや事例検討等を通じて、コミュニケーション能力を養うとともに、過疎地域における医療・介護の現状や、関係機関の役割と連携について理解を深める。

【 内 容 】

1 特別養護老人ホーム「かねやまホーム」の概要説明
(かねやまホーム 横山施設長より)

2 施設見学・利用者とのコミュニケーション

○学生が3班に分かれ、ホーム内の各ユニットの行事(運動会やバーベキュー、ぼたもち等の料理作り)に参加しました。



3 事例検討

テーマ「認知症のある高齢夫婦の在宅生活を継続するための支援」

○各グループには、助言者として地域包括支援センターの職員の方々にも入っていただきました。



4 かねやまホーム嘱託医の回診見学

○金山町国民健康保険診療所押部先生の回診を見学させていただきました。



5 ケアカンファレンスの見学

○実際の利用者さんの事例を用いたケアカンファレンスを見学しました。



参加者の声（体験レポート等より）

- スタッフの方々は一時も笑顔を絶やすことなく、私たちが上手になじませてくれ、コミュニケーションのテクニックを見せていただいた。
- スタッフの方々が明るく陽気に利用者の方々に話しかけている様子が印象的で、医師になったとき患者さんと冷たく口数少なく話すよりも、このように明るく話しかけることが健全な信頼関係を形成するために必要だと感じた。
- 事例検討では、施設の方に助言をいただき、地域の方の生活を理解していないと分からないことを教えていただき、地域医療を担う上で、住民の生活・特徴を知ることは欠かせないと学んだ。
- ケアカンファレンスを初めて見学させていただき、病院のカンファレンスとの違いをよよく知ることができた。
- 多職種の方々が一人の入居者の方について意見を共有し、楽しく暮らしてもらうための工夫を考えていて、とても勉強になりました。
- 嘱託医の方の貴重なお話を聞くことができて良かった。特養での現実的な医療（栄養）問題を知ることができた。

5 医療保健福祉従事者との懇談会

【 日 時 】 8月22日(水) 18:00~19:30

【 場 所 】 金山町 玉梨温泉 恵比寿屋

【 目 的 】 地域の医療保健福祉従事者との意見交換を通じて、地域医療への見識を深める。

【 内 容 】

○午後の研修でお世話になったかねやまホーム職員の方々と、夕食を兼ねた懇談会・意見交換会を行いました。



かねやまホーム
横山施設長 あいさつ



参加者の声(体験レポート等より)

- 奥会津の医療についてや福島県内での医療従事などお互いに意見交換でき、様々な情報を得ることができた。
- 地域の方との触れ合いを通して、地域の特徴を知ることができ、そこで行われる医療のカタチも様々なのだと思いました。
- 意見交換に来て下さった方々が、皆今の生活や地域に誇りを持っていることがわかった。

6 只見町国民健康保険朝日診療所 外来診療見学 等

【 日 時 】 8月23日（木） 9：00～13：00

【 場 所 】 只見町 只見町国民健康保険朝日診療所

【 目 的 】 外来診療の見学や通院患者とのコミュニケーションを通じて地域医療の現状や住民の考えについて理解を深めるとともに、コミュニケーション能力を養う。また、診療所の概況説明を通じて、へき地診療所の持つ役割や他関係機関との連携について知識を深める。

【 内 容 】

1 受診同行研修

○受診予定の患者さん宅を訪問し、地域の暮らしや医療の現状、通院の大変さなどを伺いました。その後、通院する患者さんに同行して診察から薬の受取までの一連の流れを見学させていただきました。

外来診療の見学・通院患者とのコミュニケーション

○学生3名で1グループとして、外来患者さんとコミュニケーションを図り、病気や普段の生活について伺いました。また、了解を得た患者さんに付いて診療の様子を見学させていただきました。



2 診療所の概要説明

○朝日診療所菅家事務長より、診療所の概要と医師の役割について説明を受けました。

3 南会津の救急体制についての説明

○南会津消防署只見出張所厨子警防担当係長より、3次救急の医療機関から遠方に位置している南会津郡で、患者をいち早く搬送するための独自の取り組みについてお話しいただきました。



4 診療所医師との意見交換

○若山所長をはじめとした朝日診療所の先生方と昼食を食べながら意見交換をしました



参加者の声（体験レポート等より）

- 一人の方に密着することで、診療の様子が患者さん目線で学ぶことができた。また、総合診療医の魅力も感じることができた。
- 診療所が地域にとって病院としての役割だけでなく、住民同士やお医者さんとのコミュニケーションの場であることを知り、診療所の医師として働いてみたいと思いました。
- 救急隊と近い関係の医師になって欲しいという言葉が心に残り、色々な方との連携が大事だと思った。
- 只見町での暮らしや仕事のやりがい、地方に在中での学習、前期研修終了後の進路などについて聞いたことは自分の将来について考える材料になった。
- 総合診療のおもしろさや各先生の経歴、今後の展望などたくさんのお話を聞くことができ、大変有意義な時間を過ごせた。
- 診察では医学的な面だけでなく、1年間の暮らしについてなどの相談にも乗っており、地域医療での患者全般をみることの重要性を知った。

7 福島県立南会津病院 概要説明・施設見学 等

【 日 時 】 8月23日（木） 14：00～15：15

【 場 所 】 南会津町 福島県立南会津病院

【 目 的 】 病院の概要説明・院内視察等を通して、へき地の中核病院の役割や現状等について見識を深める。

【 内 容 】

1 病院の概要説明（福島県立南会津病院 皆川事務長）

○皆川事務長より、病院の概要と南会津地域の医療体制について説明を受けました。

2 病院内視察



参 加 者 の 声（体験レポート等より）

- 理念の1つに「救急を断らない病院」とあって、使命感を感じました。
- 施設を紹介して下さったコメディカルの方々の言葉から、人が足りないなりに工夫して上手く回しているのが伝わった。
- リハビリ室で伺ったお話が印象的で、どのようなリハビリを行うかは、患者さんの住む家や地域にも合わせるものであり、医療を提供する側もその地域の特色・歴史・風習を知ってくべきだと感じた。

8 地域医療に従事する医師の講話

【日時】 8月23日(木) 16:00~17:00

【場所】 下郷町 民宿「星乃井」

【目的】 会津地域で地域医療に積極的に取り組んでいる医師による講話を通して、地域における医療の現状等について理解を深める。

【内容】 講師 福島県立医科大学会津医療センター
循環器内科学講座 星野 弘尊 助手
演題 「福島県会津地域の地域医療と地域連携」



参加者の声(体験レポート等より)

- 地域医療の内側・外側からの意見や、子育てなどについても詳しく伺うことができ、大変面白い考えを聞くことができた。
- 実際に現場で働いた経験のある医師の方のお話は非常に新鮮で、将来地域医療を行うにあたって知らなければならない会津の医師不足の現状を知ることができた。
- 同じ1日の中で総合医療と専門医療それぞれの大切さを学ぶことができ、医師としての生涯50年の中でどちらも行えるからこそ、総合医として学び成長して専門をつきつめることも、専門をしっかり学んでからそれを自信にして総合医療を行うことも可能であるという両方の意見を聞くことができました。

9 学生によるディスカッション

【 日 時 】 8月23日（木） 17：00～19：00

【 場 所 】 下郷町 民宿「星乃井」

【 目 的 】 提示するテーマについて、参加学生間でディスカッションを行い、地域医療についての見識を深める。

【 内 容 】

テーマ A「地域における医師不足解消の処方箋」

B「地域の住民の健康を守る処方箋」

〈座 長〉 福島県立医科大学医療人育成・支援センター 大谷 晃司 先生

〈助言者〉 福島県立医科大学会津医療センター 星野 弘尊 先生

医療法人社団敬天会 小川医院 今田 かおる 先生

○学生が2班に分かれて、各々提示されたテーマに対してKJ法により問題点をまとめ、発表を行いました。



○懇親会（夕食）

ディスカッション終了後、星野先生、今田先生を交えて懇親会を行いました。



参加者の声（体験レポート等より）

- KJ法を用いたディスカッションでは、自分に全くなかった考えを班員から得ることができ、刺激になった。
- ディスカッションを通して「地域住民の健康」を考えた経験を実際に医師になったときに活かしたいと思いました。
- 地域実習の1日目および2日目で得られた知識を用いる場となっており、とてもいい機会でした。
- 懇親会では、先生方のプライベートな話、さらに個人的な意見やどのように働いているかなど様々な話を伺うことができ、自分がどう働いていくのかを考えるきっかけになり、これからのモチベーションにつながった。

10 竹田総合病院 視察

【 日 時 】 8月24日（金） 9：00～10：45

【 場 所 】 会津若松市 竹田総合病院

【 目 的 】 病院の概要説明や施設見学などを通して、へき地医療を支援する病院の役割について知識を深める。

【 内 容 】

1 病院の概要説明

○病院の概要と地域連携課の取り組みについて説明を受けました。



2 病院内視察

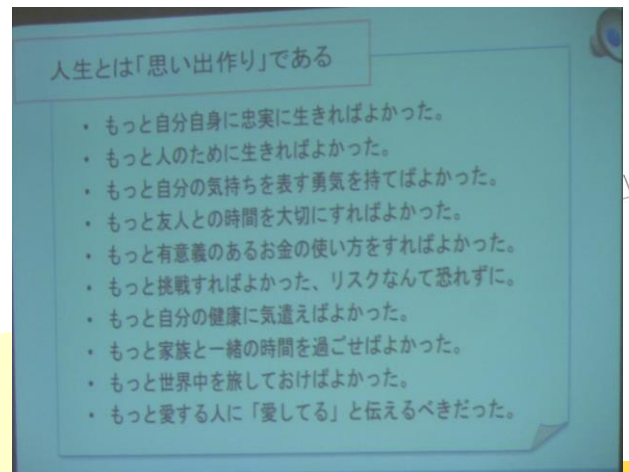


参加者の声（体験レポート等より）

- 救急施設から病棟まで広く見学し、高度な医療現場を見ることができた。
- 地域連携クリティカルパスを初めて知ったが、地域医療をする上でとても合理的なシステムでもっと詳しく学びたいと思った。
- とても多くの職種の人々が関わり合っており、このような場で働いていくには関わりをもつ職種の仕事内容について理解することが重要であると感じた。
- 会津の医療を担う責任感を強く感じました。それは救急の受入れを断らない姿勢に強く感じ、病院が多い都会でたらい回しが起きていることを考えると、田舎だからこそその暖かい医療があるのかなと思いました。

1.1 診療所医師による講話

- 【日時】 8月24日（金） 11:00~12:00
- 【場所】 会津若松市 福島県会津保健福祉事務所
- 【目的】 会津地域で在宅医療に取り組んでいる医師による講話を通して、地域における在宅医療や看取りの現状について理解を深める。
- 【内容】 講師 耶麻郡猪苗代町 小川医院 今田かおる 医師
演題 「会津地域における在宅医療の取組について」



参加者の声（体験レポート等より）

- かかりつけ医の実際やそのやりがいをたくさん知ることができた。授業では学べない寄り添うということも学べた。
- 訪問診療という形態について知らないところも多かったので、自主的にもっと調べたいと思った。
- 終末期医療において、家族で看取りやすく、我が家で最後を迎えることができるという点で、在宅医療はとても魅力的な選択肢になるなと思いました。
- 必然的に看取りの数が増える昨今では、どのような看取りがその方の尊厳や家族の方の心のケアにつながるかなど、実際に働いている方だからこそ感じるようなことまで教えていただき、とても勉強になりました。
- 人生の締めくくり方というのは当人が決めるべきことであり、看取るという技術はもっと自由に高度に発展していくべきではないかと感じた。

12 課題研究のまとめ・発表

【 日 時 】 8月24日（金）12：00～15：45

【 場 所 】 会津若松市 福島県会津保健福祉事務所

【 目 的 】 地域医療体験研修に参加して感じたことや学んだことをまとめ、発表し、学びを共有する。

【 内 容 】

テーマ ①今回の研修の感想 ②地域医療に必要とされる医師

〈座長〉 福島県立医科大学医療人育成・支援センター 大谷 晃司 先生



参加者の声（体験レポート等より）

- ・3日間の行程やエピソードをみんなで思い出し、振り返りながら反省ができて、3日間のまとめとしてとても有意義な発表になった。
- ・同じ実習に参加していても、それぞれ違うことに対して意見を持つことが興味深く、発表を通して様々な考えを聞くことができ、良いまとめになったのではないかと思います。
- ・発表の場では学生だけでなく、他の職種の方の意見を聞くことができ、学びが深まった。



地域医療体験研修 報告集

平成30年11月13日 発行



福島県会津保健福祉事務所
福島県南会津保健福祉事務所
総務企画部 総務企画課
電話番号 0242-29-5506
FAX 0242-29-5509
aidu.hokenfukushi@pref.fukushima.lg.jp